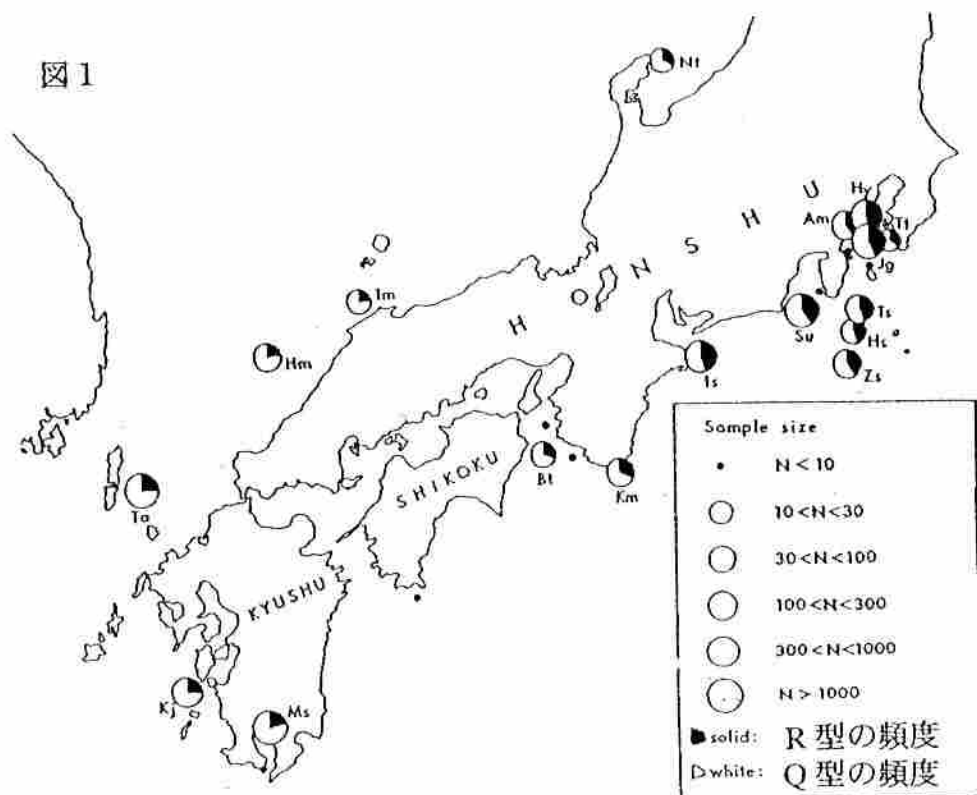


問題3 古生物学・古環境学 (125点)

以下の問い(問1～問3)に答えよ。

問1 軟体動物門二枚貝綱のヒヨクガイ *Cryptopecten vesiculosus* (Dunker, 1877) には、種内に殻表の放射肋の高い型(Q型)と低い型(R型)の二型がある。図1の円グラフは、日本各地の集団標本でのR型個体の相対的頻度を黒く塗りつぶし、Q型個体の頻度を白抜きで示したものである。なお、Nは個体数を表し、円グラフの脇のMs, Km, Zsなどは産地を示す記号である。以下の問い(1)～(3)に答えよ。

- (1) 学名 *Cryptopecten vesiculosus* (Dunker, 1877) を使って、二名法を説明せよ。また、著者名 Dunker が丸括弧 () に入っているが、丸括弧はどのような場合に使われるか。
- (2) R型個体の相対的頻度は、西日本から中部日本へ向かってほぼ規則的に変化する傾向がある。このような現象を何というか。
- (3) (2)の現象は、種分化でどのような役割を果たすか。



(次ページに続く)